

はちまんたい議会だより

ギカイのひろは

No. **62**
2021年(令和3年)
1月21日



ステキな
田山保育所

— 田山保育所 —

主な内容

- 議員と語る会……………P 2
- 12月定例会……………P 4
- 一般質問(11人)……………P 6



議員が4会場に分かれて参加者と意見交換しました
大更コミュニティセンター(11月7日)

市政への提言強化 のため市民と対話

議員と 語る会

八幡平市議会は令和2年11月7・14日の2日間、議会報告会「議員と語る会」を開催しました。市内4会場で開かれた議員と語る会には市民53人が参加。議員自らが令和2年第3回定例会などの議会報告をしたほか、市政全般について意見交換を行いました。詳しくは、議会のホームページに掲載します。

2 班

● 11月7日 ●
大更コミュニティ
センター
■ 参加者 37人

- ▼旧国道282号の上町から下町の両側に歩道を設置してほしい。
- ▼田頭中村地区の大更八幡平線と中田野駄森線の十字路交差点で交通事故(死亡事故も発生)が多発している。車両・歩行者の安全対策のために、信号機などの早期設置を望む。岩手警察署へ積極的に要望するべきである。
- ▼大更駅の自由通路は、市立病院までの往来経路やエレベーターの設置されている場所が分かりにくい。案内板などを設置し、利用しやすい環境にしてほしい。
- ▼また、大更駅前から市立病院への道路案内看板が必要である。
- ▼毎年話題になる空き家対策は、どのように進んでいるのか。
- ▼何年も前から農業委員会に要望しているが、U字溝が設置されていない用水・排水が臭く、虫も発生している。対策が必要だ。

3 班

● 11月7日 ●
荒屋コミュニティ
センター
■ 参加者 10人



荒屋コミュニティセンター
(11月7日)

- ▼寺志田のグラウンドは、ほとんど使用されていないため、高齢者のためのパークゴルフ場やグラウンドゴルフ場として、整備を望む。
- ▼漆器文化を守るため、木地師の養成が急務である。市で木地師を養成してほしい。

1 班

● 11月14日 ●
平館コミュニティ
センター
■ 参加者 4人



平館コミュニティセンター
(11月14日)

2 班

● 11月14日 ●
松尾コミュニティ
センター
■ 参加者 2人



松尾コミュニティセンター
(11月14日)

- ▼議員としてできること、できないことを明確にし、市民に寄り添い、小さな事でも積み重ねながら10年先を展望してほしい。
- ▼令和4年8月に開校予定でハロウスクール安比の建設工事が進んでいる。ハロウ校では、日本文化を学び、市民や小中高生との交流、奉仕活動を望んでいる。市の支援のあり方はどうか。
- ▼観光協会の事業がワンパターン化していないか。DMOと観光協会の役割を認識し、事業の連携強化を進めるべきである。

議員と語る会に参加いただき ありがとうございました

各会場の実施報告書や参加者のアンケート結果、要望・提言などに対する市の回答(対応方針)の全文など、議員と語る会について、詳しくは八幡平市議会のホームページに掲載します。

- ▼ハロウスクール安比の開校に伴い、地元雇用、特に若者雇用について事業者に要請してほしい。
- ▼安代から西根までの交通アクセスが悪い。コミュニティバスの増便を要望する。
- ▼八幡平市立病院内に軽食または、飲食ができる店と休憩室を設置してほしい。
- ▼市の発注工事は、地元事業者が優先的に受注できるようなシステムが必要である。

- ▼「ギカイのひろば」に対する要望。全議案の掲載と臨時会の記事を掲載するべきである。
- ▼国道282号にある市立病院の

12月定例会

●会期 12月4日～12月14日(11日間)

田山診療所を病院事業に移管など23議案を可決



12月定例会議案採決（発議案第2号）

今回は
市長提出議案 22件
議員提出議案 2件
請願 1件

【発議案第2号】緊急経済対策として消費税率5%への引き下げを求める意見書

八幡平市議会初の議員間討議を実施

政府に対し、緊急経済対策として消費税率5%への引き下げを求める内容です（提出者＝米田定男議員）。

9月定例会でもこの意見書が提出され、否決をされたわけだが、なぜまた今議会で提出したのか。

前回の議会で同じ趣旨の請願が不採択になったとしても、法的に発議案が出せない条件にはなっていない。また、議会というのは議会運営上から見れば、会期が変われば舞台が変わる。

■発議案第2号に対して、議会基本条例第3条第2項の規定による議員相互間の自由な討議を実施するため、議長発議により議員間討議を実施した。約1時間にわたり議員同士で活発な討議が行われた。※討議の内容は、八幡平市議会のホームページで配信しています。

【賛成討論】 勝又安正議員（八起会）

消費税そのものの本来のプロセスは福祉財源確保のための税である。消費税を引き下げたからといって対コロナに向けた財政出動が少なくなる訳ではなく、財源の不足により、多くの財政出動の必要性に迫られ、税率が変化する度に一般の現場での混乱、経費の増大など商店小売業にますますの負担と混乱を強いる。マクロ経済を無視した小手先だけの政策はすべきではないと考え、反対討論とする。

【賛成討論】 高橋悦郎議員（日本共産党）

コロナ感染症が終息した後に行う経済対策であった、GOTOキャンペーンを進める中で、感染が過去最大に広がっている。消費税率5%への引き下げは、全国すべて1世帯当たり、年に10万円前後の減税を行う事と国内経済の6割を占める家計消費を拡大する経済効果が見込まれるものである。コロナ感染症の抑止にもなる経済対策であり、与党の一部や野党各党が提案しているものである。

【反対討論】 北口功議員（無会派）

9月定例会の請願における反対討論にあるとおり、消費税は社会保障の重要な財源である。世界に先駆けて日本が行っている政策でもある。今現在、実施しているものを大きく変更させることは、財源の問題があるから好ましくないと考える。地方交付税が減る中で市の財源として貴重な消費税分を確保していく必要性を鑑み、反対討論とする。

【賛成討論】 関善次郎議員（自由クラブ）

コロナの影響により企業などの経営が厳しくなっている。市民の収入が減り、現状は大変厳しい社会状況であり、市民・国民の生活がままならない社会環境が続いている。市民が大変な時こそ市と市議会が一体となり市民を支える行動を行うことが、もっとも大事ではないか。そのような観点から一時的に消費税率を5%に引き下げ、いくらかでも市民の負担を減らす支援を行うべきである。

【議案第11号】 八幡平市職員定数条例の一部を改正する条例

病院事業の職員定数87人に見直し

病院事業の職員定数の見直しをしようとするものです。

田山診療所の移管に伴い、定数の増加と説明があったが、詳しい内容は、

病院事業の職員定数を66名から87名にするもので、21名の増員となる。内訳は、田山診療所を病院事業に移管することに伴い、事務職員2名、医師1名、看護師2名の合計5名のほか、市立病院の機能強化を図るために看護師9名、介護福祉士7名の増員を予定している。

議案説明の際に全体の説明がなかったが、コロナ禍にあつては、敏感な問題であり説明不足では、

説明が十分ではなかった。田山診療所の移管および入院患者の増加と夜間体制の強化が主な要因である。

【議案第15号】 令和2年度八幡平市一般会計補正予算（第9号）

9595万7千円減額の補正予算

歳入、歳出それぞれ9595万7千円を減額するものです。

クラウドファンディング活用支援補助金を計上しているが、交付条件と現状は、

クラウドファンディングの利用手数料に対し、市が2分の1（最大50万円）を補助するものである。今回は、約150万円のお金を集めた事業者に対して、46万2千円の手数料を助成する。

スパルタキャンパス卒業生の事業の活用状況は、

今回の事例は、スパルタキャンパス卒業生からの申請であり、市の補助金第1号である。この事業により、クラウドファンディングが活用しやすくなり、資金の調達がいやしい環境になる。起業家の安定した経営に役立つものと期待する。

令和 2 年第 4 回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果																						
議 案 名		議 員 名 (会 派 名)																				議決結果
		1 関 治人 (八 起 会)	2 羽 沢 寿隆 (八 起 会)	3 工 藤 多弘 (松 西 会)	4 勝 又 安正 (八 起 会)	5 北 口 功 (無 会 派)	6 工 藤 隆一 (八 起 会)	7 田 村 善男 (八 起 会)	8 井 上 辰男 (八 起 会)	9 立 花 安文 (八 起 会)	10 渡 辺 義光 (市民 クラブ)	11 工 藤 直道 (改革 クラブ)	12 古 川 津好 (松 西 会)	13 田 村 孝 (八 起 会)	14 高 橋 悦郎 (日本 共産党)	15 熊 澤 博 (自由 クラブ)	16 関 善次郎 (自由 クラブ)	17 高 橋 光幸 (改革 クラブ)	18 米 田 定男 (日本 共産党)	19 小 野 寺昭一 (八 起 会)	20 工 藤 剛 (市民 クラブ)	
発議案 第 2 号	緊急経済対策として消費税率 5 % への引き下げを求める意見書	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	欠席	○	○	○	●	－	否決

※賛成＝○、反対＝● 工藤剛議長は採決に加わりません

質問した事項

渡辺 義光 議員(市民クラブ).....6

- ・国際文化交流都市宣言と多文化交流施設整備について
- ・市内小・中学校のいじめと不登校の実態について

井上 辰男 議員(八起会).....7

- ・超高齢社会の課題について
- ・水道施設の老朽化問題について
- ・新型コロナウイルス感染症の再拡大について

工藤 隆一 議員(八起会).....8

- ・八幡平市立病院について
- ・主要地方道大更八幡平線について
- ・教育について
- ・観光について

関 治人 議員(八起会).....8

- ・子育て支援について
- ・防災対策について
- ・ラジオ難視聴について

勝又 安正 議員(八起会).....9

- ・米の適正生産量について
- ・大雪対策について
- ・八幡平市のりんどう振興と強化継続について

工藤 直道 議員(改革クラブ).....10

- ・令和3年度予算編成について
- ・公共施設等総合管理計画について
- ・未登記道路について
- ・米の消費拡大と支援策について

高橋 悦郎 議員(日本共産党).....10

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施計画について
- ・八幡平市子ども・子育て支援事業計画について

工藤 多弘 議員(松西会).....11

- ・第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- ・大更駅周辺及び地域のまちづくり環境整備について

熊澤 博 議員(自由クラブ).....12

- ・ふるさと納税返礼品事業のあり方について
- ・土砂流出被害について

米田 定男 議員(日本共産党).....12

- ・入湯税について
- ・新型コロナウイルス感染症対策について

北口 功 議員(無会派).....13

- ・コミュニティバスの幹線バス運行へのアクセスについて
- ・防犯灯のLED化の推進について
- ・北森駅ホームのハトのフン害対策について



わたなべよしみつ
渡辺義光 議員
(市民クラブ)

二転三転の文化施設整備 総合計画に盛り込み検討



ゆっくり座って観賞したいですね！

問 文化施設整備は、3町村合併以来の懸案事項である。市芸術文化協会・市婦人会連絡協議会の請願は採決され9年。議員と語る会でも毎回要望があるが未だに進展が見られない。コンパクトでもキラリと光る施設整備の具現化の考えは。

市長 文化施設については、第2次市総合計画後期基本計画(令和3年〜7年度)に盛り込み、規模、運営手法を考える。近隣自治体の施設利用や令和4年8月開校のハロウスクールとの連携協定や国際文化交流施設も視野に入れて検討する。

問 ハロウ校は、最終的に生徒数940人、世界一の学校を目標にしている。バレー構想プロジェクトでは、同地周辺にホテル整備など1万人規模のまちづくりを構想している。多文化共生社会を目指す「国際文化交流都市宣言」を構想している。

市長 ハロウ校の開校は、本市が変革する起爆剤になると考えている。市民と外国人が気軽に交流できる施設活用やソフト事業などの可能性を広く検討する。

問 いじめの無い学校
令和元年度の岩手県内
小・中学校でのいじめ件数が過去最多となった。同年度の市内小・中学校のいじめの実態と対応はどうか。
教育長 小学校59件、中学校14件で、前年度より150件減少した。「いじめ防止基本方針」を各校の全職員で確認し、徹底している。



いのうえ たつお
井上辰男 議員
(八起会)

シニアカーの環境整備を 配慮した歩道整備努める



道路横断が最も危険性が高い

問 高齢者などの見守りや保護をするツールはなにか。
市長 1つ目は、弁当の提供と安否確認を行う「配食見守りサービス」。2つ目は、緊急時に適切な対応と安否確認を行う「緊急通報体制整備事業」。3つ目は、民間事業者などと連携して異

変を早期に発見、支援を行う「見守りネットワーク事業」。4つ目が、認知症高齢者の行方不明の早期発見保護を図る「盛岡広域シルバーケアSOSネットワークシステム」である。
問 徘徊して隣接市町まで行く可能性もある。早期発

見のため、周辺自治体と協定書を交わし、連携強化を図る考えはないか。
市長 県が主体となり、行政間の情報共有や協力依頼の体制を整備している。
問 高齢者の買い物弱者が増えている。シニアカーの環境整備が必要ではないか。

市長 シニアカーが増えている。今後は利用にも配慮した歩道整備に努める。
水道施設の老朽化
問 八幡平市水道事業経営戦略の進捗状況と見通しは。
市長 計画どおり実施している。県最終処分場整備関

連も、8割程度進む見込み。今後は、小規模施設の統合を進め、効率化を図る。
問 新型コロナウイルス感染症に伴う水道料金減免措置の件数と減免額は。
市長 減免措置件数は、116件で、減免額は、134万9千円である。



くどうりゅういち
工藤隆一 議員
(八起会)

問 主要地方道大更八幡平線の一部300メートルほどの区間に歩道がなく、道路幅員が急に狭くなり危険である。今後の考えは。

市長 現在は、岩手県の管理道路となっているので、市町村要望へ追加し、早期に事業着手が図られるよう要望する。

問 県道浜民田頭線との十字路交差点で、事故が多発している。安全対策は、建設課長 変則交差点で見通しが悪く、危険との認識はある。県道であることから、安全対策については、県に早急に要望する。

大更八幡平線の拡幅改良 県へ事業着手を要望する

市立病院看板設置

問 バイパスからの入口である大更中央線の所に市立病院の看板が必要と考える。市立病院事務局長 バイパスからの進入路で、何もなく分かりづらいため、今後市民の意見を聞き検討する。

オンライン学習通信環境整備を図る

問 今年度中に小・中学生1人1台タブレットが配置となる。今後のオンライン学習についての考えは。

教育長 インストールした教材を活用し、復習する事で、基礎・基本の定着や児童生徒の個別学習や指導が可能となる。コロナ感染症による臨時休校時には、双方通信による健康状況の把握、ライブ授業、家庭学習の提供など、学習指導の支援を行う。また、今後は家庭通信環境の整備に努める。



見通しが悪い危険な変則交差点



せき ひろと
関 治人 議員
(八起会)

問 育児休暇を取得できる環境整備への取り組みは。

市長 企業への働きかけや男性の育児参加促進に理解を求めていく。

問 待機児童の今後の見通しと対応について。

市長 保育所の統合や児童数減により、1歳、2歳児は、令和3年度に解消する見込みである。0歳児については、制度上の定員超過の範囲内で対応が可能である。

問 遊ぶ場所が少ないとの声に対しては。

市長 大更顔づくり施設整備で対応する。

問 病児保育事業を実施する見込みは。

市長 看護師や保育士の確保が困難であり、今後の課題である。

ラジオ難視聴

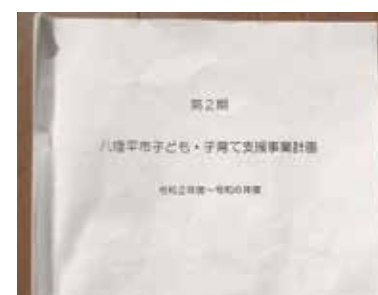
問 安代地区のラジオ難視聴解消に向け現状は。

市長 AMラジオの電波は、海外との調整が必要であり、基地局の建設には、約2億1千万円の経費が掛かる。困難ではあるがさまざまな視点で今後も要望する。

防災対策について

問 防災行政無線が聞こえにくいなど、市民から多く

子育て支援の充実を要望 さまざまな視点で対応



令和6年度までの計画が示された。

海外との調整が必要であり、基地局の建設には、約2億1千万円の経費が掛かる。困難ではあるがさまざまな視点で今後も要望する。

防災対策について

問 防災行政無線が聞こえにくいなど、市民から多く

市長 関係機関と協力し、地区に合わせた最適品種の作付けを推奨している。

問 海外活用事業の取り組み状況について。

市長 コロナ禍終息後、現地への指導強化を図り、ブランドの維持、また振興作物推進事業の継続支援を行う。

令和3年度に解消する見込みである。0歳児については、制度上の定員超過の範囲内で対応が可能である。

ラジオ難視聴

問 安代地区のラジオ難視聴解消に向け現状は。

市長 AMラジオの電波は、海外との調整が必要であり、基地局の建設には、約2億1千万円の経費が掛かる。困難ではあるがさまざまな視点で今後も要望する。

防災対策について

問 防災行政無線が聞こえにくいなど、市民から多く

海外との調整が必要であり、基地局の建設には、約2億1千万円の経費が掛かる。困難ではあるがさまざまな視点で今後も要望する。

防災対策について

問 防災行政無線が聞こえにくいなど、市民から多く

の声が上がっている。災害時には、市民の生命を守るため複数の伝達方法と地域コミュニティの役割が必要となるが、当局の考えは。

市長 防災メールやアプリの活用など、複数の伝達方法や、地域コミュニティの充実が重要と考える。



かつまた やすまさ
勝又安正 議員
(八起会)

問 転作助成金となる水田活用直接支払交付金の支援策などの状況を伺う。

市長 国からの交付金を継続し市農業再生協議会でも飼料用米や高収益野菜への作付け転換に助成を実施。

問 適正な生産目安を早め

市長 国の予算配分が不明であるが、関係機関を通じて早期の周知をしていく。

問 農家の所得確保のため収入保険制度などの対策を強化すべきではないか。

市長 市認定農業者協議会での研修、個別相談会の開催で加入推進に努める。

米の適正生産量と支援策 転作作物の支援を進める

大雪対策について

問 除雪支援活動助成金交付事業の実施状況を伺う。

市長 今年度は安代地区地域振興協議会5団体である。

問 避難所の寒さ対策は取られているのか。

市長 消防団防災倉庫の機



荒屋地区の収穫を待つ稲穂

材活用と停電時の石油ストーブ70台を確保している。避難所においてもホテル協議会との協定に基づき協力要請をしていく。

りんどう強化継続

問 需要期に合った品種改良が推進されているか。

市長 関係機関と協力し、地区に合わせた最適品種の作付けを推奨している。

問 海外活用事業の取り組み状況について。

市長 コロナ禍終息後、現地への指導強化を図り、ブランドの維持、また振興作物推進事業の継続支援を行う。



くどう なおみち
工藤直道 議員
(改革クラブ)

問 歳入の柱である市税収入は、人口減少の影響が大きく、将来においてますます厳しさを増す。移住・定住化対策に十分な対策費が必要と考えるが。

市長 テレワークにより業務を本市で行う方を対象に、移住支援金や起業支援金を

支給し、東京圏の人材を本市の移住に結び付けられるように取り組みたい。

未登記道路問題

問 市道区域内において所有権を移転しない土地は存在しないか伺う。

市長 現在把握している未

さらなる移住定住化対策

移住・起業支援金を支給

登記は、345筆である。今後も随時調査を進め、未登記の解消に努めていく。

問 未登記道路における課税はないか伺う。

市長 現在調査中であり、課税情報が特定されたら対応を検討していく。

米の検査手数料と紙袋代の補助を

問 コロナ禍による外食産業の低迷と米の消費の伸び悩みで米価が下落している。支援策が必要と考えるが。

市長 需要動向を見れば、価格の下落は予想された。



地域おこし協力隊卒業後に移住

高収益作物への作付け転換を進めていく。

問 花巻市では、米生産者に対し、主食米価格の下落に対する補助金1袋300円当たり検査手数料と紙袋助成107円の補助をしているが、考えはないか伺う。

農林課長 考えていない。



たかはし えつろう
高橋悦郎 議員
(日本共産党)

問 市のコロナ感染症経済対策費は、約1億8700万円が未執行分として減額補正される。今回の減額は初めての経済対策でもあり、やむを得ないものと思う。今は、コロナ感染症で特に中小宿泊施設や飲食店などが厳しい状況にある。今回

減額する予算で新たな支援策を行うべきではないか。

副市長 支援策の執行率が低かったのはそのとおりだが、困っている事業所には必要な支援金は届いたと思う。今後については、県が新たに家賃補助を行うので、市も今定例会で追加補正予

新たなコロナ経済支援を

新規の家賃補助を行う

算案を提案したい。さらには、国も第3次のコロナ対策交付金補正を行うので、それらを使い効果的な支援策を実施したい。

保育所の待機児童ゼロを早期に

問 市内の出生数は合併時

200名ほどであったが、昨年度は109名と半減している。このような中で今年度策定した「市の子育て支援計画」の中で、5年後においても待機児童がいる計画になっている。早期に待機児童ゼロにする体制に見直すべきである。

地域福祉課長 計画では待機児童が残るようになってはいるが、今建設している統合保育所が完成すると、0歳児の保育定数が12名増える。さらに正職員の保育士を複数人雇用する予定であり、待機児童はゼロになると見込んでいる。

八幡平市のコロナ感染症での主な経済対策予算の執行率 (単位: 千円)

事業名	当初予算	今回の減額補正	執行率
新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金	145,600	▲85,600	41.2%
地域企業経営継続支援事業補助金	46,992	▲40,586	13.6%
水道料金等減免措置	38,396	▲18,557	51.7%
小中学校のタブレット端末購入	175,837	▲22,167	入札減等
公立学校ネットワーク整備委託料	153,598	▲19,288	入札減等
その他		▲945	
合計		▲187,143	

臨時交付金の減額補正表



くどう たひろ
工藤多弘 議員
(松西会)

問 大更駅前周辺に人が集まる複合施設の計画は。

市長 八幡平市商工会を通じて地域の方々の意向を調査し、市立図書館および子育て支援施設を計画している。

問 大更駅前周辺整備事業の投資額について伺う。

市長 大更駅前周辺整備事

業としては、約50億2千万円ほどである。そのうち交付金と合併特例債の交付税算入分が約40億9千万円と見込まれ、実質負担は約9億3千万円となっている。

保育環境の整備

問 待機児童の解消に向け

メインターゲット世代は

子育て世代を中心に

保育士の確保、保育環境の整備の状況について伺う。

市長 待機児童の解消に向けて正職員の保育士の採用を進めている。また、令和3年秋の松野保育所と寄木保育所の統合により、0歳児の定員が12名増え、保育士の配置に余裕ができる。

小児医療の充実

問 市立病院の小児医療を週5日診療にする考えは。

市長 現在、岩手医大からの医師の派遣により週4日診療しているが、来年度は月曜日から金曜日までの週5日診療できるよう小児科



大更駅前周辺整備事業の現状

医の確保に鋭意努力する。

問 観光交流人口の増大に向け、外国人受入れ体制の取り組み状況を伺う。

市長 大更・平館の飲食店を中心に英語・繁体字のメニュー表を作成し、外国人が市内飲食店に行きやすい環境づくりを進めている。



くまざわ ひろし 議員
熊澤 博 (自由クラブ)

涼川等への土砂流出被害

耕作者に対策を協力要請

問 大雨の際、農業法人が経営する七時雨・田代平の野菜団地の土砂流出被害が続いている。麓の山荘、涼川を利用する養鱒場、松川淡水漁業協同組合の被害状況と、これまでと今後の市の対応について伺う。

池がつぶれ、バーベキューハウスの存続も危ぶまれている。養鱒場では、「沈砂池と養魚池に泥がたまり、撤去費用がかさんでいる」松川淡水漁業協同組合では、「遊漁券の販売が減少傾向で、稚魚を毎年放流しているのに魚が増えていない」

と報告を受けている。市としては、急傾斜の農地保全の観点から、地権者と耕作者に対して、複数回にわたる、土砂流出防止対策を講じるよう協力を要請している。今後も、大雨の際には現地を確認し、必要に応じて対策を講じるよう、関係

者と協議を重ねながら土砂流出の減少に努めたい。

問 野口地区の河川公園の河道は、多自然型で魚や水生昆虫のすみやすい、昔の川の再現を狙ったものである。生物のすめない川は、環境アセスメントの観点からも問題である。農地の番

人ともいわれる農業委員会のお券にかかわる、由々しき事態ではないのか。

農薬委員会事務局長 この件に関しては、強い行政指導をできる立場ではない。今後も農林課と連携し、耕作者や所有者に改善を要請していく。



カジカ泣く 山女に岩魚 ニジマスも



まいた さだお 議員
米田定男 (日本共産党)

入湯税規定は検証が必要 法に沿って運用している



市の高齢者等温泉館

問 税は当然ながらその体系や運用は、厳格で整然であるべきである。入湯税は曖昧な規定や運用の状況にあると判断し、問題提起として質問する。

温泉への入湯は一部の人の特別な行為であり、課税も妥当だと判断できる。しかし、現在は温泉施設所在地の市民は安価で入浴が可能な環境であり、日常生活の一部になっているともいえる。この行為に課税すること、妥当であるかが問わ

れる。法の規定が社会状況、市民の生活状況に合致しているのかを検証することが重要である。

市長 一般公衆浴場や12歳未満の方の入湯については、課税免除しており一律な課税とはしていない。

の規定では、その設置目的について「温泉の利用等による健康の増進、及び交流の促進」と規定している。つまり、この施設の利用は市が推奨する行為といえる。その行為に対して市税を課するのは矛盾である。

の事由等により不均一課税が可能であり、これらの施設にはそれを適用している。

問 岩手町条例では、町営施設の入湯について課税免除を規定している。

市長 負担の公平性、財政状況等を鑑み課税免除ではなく不均一課税としている。



きたぐち いさお 議員
北口 功 (無会派)

高齢者の通院問題対策 移動手段の確保に努力

防犯灯のLED化 推進について

問 運転ができない高齢者の通院などは、大変な問題である。駅から病院まで距離がある方もいる。浅沢地区から幹線バス（兄畑駅、市立病院）に乗り換えできるバスの運行はあるのか。また、オンデマンド型バスの運行ができないのか。

市長 浅沢五日市線は、JR花輪線への接続を考慮したものである。幹線バスは花輪線の空白時間帯の移動手段として運行している。オンデマンド型バスの運行は、予定していないが地域の方々と検討し高齢者の移動手段の確保に努める。

問 地域振興協議会事業の中で住宅地の街灯はLED化が進んでいるが、防犯灯は進んでいない。市が管理する防犯灯の数と年間の維持費。LED化した場合の

試算はあるのか。

市長 防犯灯の数は11月末時点で1063灯。維持費は、平成30年度450万7379円である。LED化した場合の試算はおおよそ2300万円で、電気料金は年額約150万円となる。

問 盛岡市や秋田市で行われている、リース方式によるLED化事業は、初期投資が少なく、維持費の点からも有効と考える。当市でも導入する考えはあるか。

市長 盛岡市の事例は聞いている。盛岡市や他自治体を調査し、本市での事業展開が可能か検討する。



兄畑駅～市立病院を走る幹線バス

八幡平市議会活動レポート

議会改革研修会



「地方議会のあり方」の研修会風景

議会改革の一環で研修会を実施

12月9日に、市議会改革推進会議主催の研修会を開催しました。株式会社岩手日報社、編集局報道部第二部長、熊谷宏彰氏、同じく八幡平支局長、及川慶修氏を講師に迎え、熊谷氏からは「地方議会のあり方」、及川氏からは「地元から見た市議会」を演題に講演していただきました。参加議員からは議員の発信力について、議員定数の定め方についての質問が出され、報道記者の視点から質問に答えていただき、大変参考になりました。

次は 3月定例会（予定）

期 日	内 容
2月18日(木)	市長施政方針演述 ほか
2月19日(金) ～ 3月2日(火)	休会
3月3日(水)～5日(金)	会派代表質問、一般質問
3月6日(土)・7日(日)	休会
3月8日(月)～10日(水)	一般質問、議案審議、 予算特別委員会
3月11日(木)～14日(日)	休会
3月15日(月)～17日(水)	予算特別委員会
3月18日(木)	休会
3月19日(金)	予算特別委員会
3月20日(土)～22日(月)	休会
3月23日(火)	委員長報告 ほか

議会を傍聴しませんか

八幡平市議会では、本会議などを誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する人は、議会開催日に市役所3階の議会事務局までお越しください。

議会の映像を見ることができます

八幡平市議会では、議会開催日に市役所本庁舎1階のテレビでライブ中継を行っているほか、インターネット（YouTubeの八幡平市議会のチャンネル）で録画配信しています。

令和2年12月定例会の視聴回数は323回です。
9月定例会の視聴回数は571回でした。
(令和3年1月7日時点)

クイズ

問 ○の中には、どんな文字（数字）が入るでしょう？

繁殖育成センターの飼養頭数は、乳用牛と肉用牛を合わせて最大〇〇〇頭を予定しています。

■応募方法 答え、住所、氏名（ふりがな）、年齢、「ギカイのひろば」を読んだ感想、市政や市議会への意見・要望などを必ず記入の上、はがきやファクス、電子メールで応募ください。正解者の中から抽選で5人に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします（当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます）。

■あて先 〒028-7397 八幡平市議会事務局 議会だより 係
FAX：0195-74-2105 E-mail：gikai@city.hachimantai.lg.jp

■しめ切り 令和3年3月5日(金)(当日消印有効)

■前回(No61)の正解 13(件)
応募者 22人 正解者 22人

第2回臨時会

会期11月4日
(1日間)

○建設工事の請負契約など3議案を可決

【議案第1号】 繁殖育成センター建設工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて

八幡平市平笠地内に17億4900万円で繁殖育成センターを建設するものです。センターの飼養頭数は、最大で乳用牛400頭、肉用牛450頭を予定しています。

【議案第2号】 財産の取得に関し議決を求めることについて

GIGAスクール構想の実現に向けて、市内小中学校の児童生徒に1人1台のタブレット型端末を整備します。生徒・教師・指導者用に合わせて1491台を1億5367万円で購入するものです。

第3回臨時会

会期11月30日
(1日間)

○給与改定条例・補正予算など9議案を可決

【議案第1号】 八幡平市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告に基づいて国の一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律が成立しました。同法に準じて、期末手当の額を改正するものです。

委員会活動報告

産業建設常任委員会

■期日・場所 10月26日・八幡平市内
■内容 産業建設常任委員会所管の令和2年度主要事業等に係る市内視察調査

田代平周辺ほか7カ所の視察調査

株式会社太極舎が、旧八幡平トラウトガーデンの建物を改装し開業した、八幡平市初のクラフトビール醸造所を視察した。日本名水百選に選定された金沢清水湧水とドイツの有機無農薬麦芽を使った4種類のオーガニックビールを生産する。工場の施設内見学と岡部社長のビールにかける抱負を拝聴した。地熱・天然水といった地元の自然を活用し、「人に自然にやさしく」をモットーとしたこのビールは、市内の宿泊施設や首都圏での販売拡大を目指しており、市の観光名所や名水の魅力を伝える商品として期待が高まっている。



4種類のドラゴンアイビールの紹介

教育民生常任委員会

■期日・場所 10月28日・大更小学校
■内容 市内小学校のパソコン導入による情報化教育の実態調査

算数の授業でプログラミング学習

大更小学校のパソコン教室において、5年生の算数の授業を視察した。担当教諭と機器のトラブルに対応するメーカーのサポートを受けて、ヤフーキッズのプログラミングアプリを使い倍数と公倍数を求める内容であった。1人1台のパソコンで、どの児童も手際よくパソコンの操作をして、答えを導き出していた。実際に授業を見学することで、小学校の情報化教育の現状が分かり、理解を深めることができた。



真剣に学習に取り組む大更小学校の児童たち

防 災無線の履歴を市のホームページに載せたり、ラインの通知があればいいと思う。(松川・35歳女性)

八 幡平市にもイノシシがいるのですね。猟友会に有害鳥獣駆除の許可を早急に出せるようにしてください。(向村・75歳女性)

前 号のあしることも園の表紙は、外の景色も写り子どもたちも元気でよかった。(湯沢・80歳男性)

一 度議会を傍聴してみたいと思いつつ、先延ばしにしています。気軽に行ける雰囲気作りをお願いします。(山後・66歳女性)



クイズで寄せられた意見などを紹介します。

大 更駅前新図書館ができるのですね。何ができるのかと楽しみにしていました。(上寄木・67歳女性)

八 幡平市議会の活動が分かりやすく掲載されていて、とてもためになります。(町組・64歳女性)

市 立病院に期待しています。わざわざ盛岡まで行かなくて済むのなら市立病院に行きたいです。(北村・52歳女性)

正 午のチャイムが鳴るようになり、とても良いです。畑作業をする時、助かります。(寺田・72歳女性)

議会のまど



夢に向かい頑張る
孫にエール

さとう やすつぐ
佐藤 安嗣 さん (74歳)
(新町一区)

高校3年生の孫は、大学進学希望で夜遅くまで勉強し、毎朝6時の1番列車で盛岡へ通学している。ふと私も高校時代に汽車通学をしていたことを思い出した。冬の朝、薄暗い雪道をこいで1番列車に乗ったこと。夏の夕方、クラブ活動で疲れて乗った最終列車、今も夕焼けに染まる岩手山の稜線がくっきりと脳裏に浮かぶ。あれから60年、孫も同じ景色を見て通学しているのだ。時の移ろいは早いもの「少年老い易く学成り難し一寸の光陰軽んずべからず」年を重ね74歳、夢に向かい頑張る孫18歳にエールを送る。コロナと風邪に負けず暖かい春を迎えよう。

令和2年第4回定例会 傍聴者数

14人

市議会ホームページにアクセスを

八幡平市議会のホームページには、はちまんたい議会だよりのほか、議会日程(会期日程、一般質問の通告一覧)や議決結果、会議録(キーワード検索できます)などを掲載しています。ご覧ください。

保育所紹介



田山保育所
保護者会会長
あべ としのぶ
阿部 俊信 さん

田 山保育所は、周りに多目的グラウンドや河川公園が広がり、子どもたちがのびのびと元気に遊び、学べる場所です。また、幼児数が少ない分、所長先生をはじめ先生方には1人1人親身になって接していただいております。さらには、コロナ禍という事もあり、例年にもまして衛生面やワックス掛けなど施設内の美化に気を配っていただき、安心できる保育所です。